

駅名に「寺」の名が付く珍しい知多市「寺本エリア」の

「歴史」と「文化」を 地図を片手に散策しませんか!!

1 法海寺 (ほうかいじ)

「寺本(八幡)のオヤクッサン」と親しまれている薬王山法海寺は、薬師如来を御本尊に祀る天台宗の古刹で、日本三薬師(奈良:法隆寺、三河:鳳来寺及び寺本:法海寺)の一つとされています。天智7年(668年)の創建とされ、1350年の歴史を刻む八幡の祈願寺です。当時は七堂伽藍で、堂宇(四方に張り出した屋根を持つ建物)は社殿を極め、内外六坊の十二院があったと伝えられています。戦国の兵火で大部分が焼失し、慶長年間(安土桃山時代から江戸時代)に再建されたものの、本堂と仁王門、吉祥院、大乗院、常光院のみが現代に受け継がれています。仁王門(仁王尊像)、参道の両側にそびえる楠木や、良い御縁が結ばれるようにと建立された、なで仏「喜笑龍(きしょうりゅう)」など、境内にはたくさんの見どころがあります。

↑記念スタンプは吉祥院にて



吉祥院



常光院



大乗院

2 極楽寺 (ごくらくじ)

創建年代不詳。ご本尊「聖観世音菩薩」を祀る曹洞宗のお寺です。所蔵されている鯛口(仏堂の正面軒先に吊り下げられた仏具)には、永正6年(1509年)「尾州智多郡寺本保内泉養山極楽寺」と刻まれており、当時この地域の地名が「寺本」と称されていたことがわかる最も古い資料とされています。境内にある2本のクスノキの木は、堀之内城(寺本城)の入り口に位置していたと言う説もあります。



3 大祥院 (だいしょういん)

嘉吉2年(1442年)に創建され、ご本尊「釈迦如来」を祀る曹洞宗のお寺です。堀之内城主花井播磨守信忠が仏門に入り、英巴入道と称しました。境内には、本堂・山門・鐘樓・庫裡があります。



4 龍蔵寺 (りゅうぞうじ)

元和3年(1617年)に地蔵菩薩に深く帰依する京の公卿が移り住んだことからお寺の歴史は始まりました。境内には市の保存樹「オガタマノキ(招霊木)」、防火の神である秋葉三尺坊大権現を祀る社や、「心にやすらぎを」という思いから、手書きの言葉がたくさん飾られています。



5 栖光院 (せいこういん)

創建年代不詳。当初、海嶺山慈眼寺と慈林坊栖光庵の二ヶ寺でしたが、天正5年(1577年)一ヶ寺に合併され、宗派を真言宗から曹洞宗へ改宗し海嶺山栖光庵となりました。昭和17年に寺号を変更し栖光院となりました。(ご本尊様は大日如来。弘法大師のご本尊様は聖観音菩薩。)推定樹齢850年の大楠は当山の象徴的な存在です。



6 八幡神社 (はちまんじんじや)

創建年代不詳。法海寺の鬼門鎮護のため創祀されたと伝えられています。江戸時代から寺本4か村(今の八幡区)の総鎮守として、今も崇敬されています。本殿は、貞享2年(1685年)造営のもので、昭和51年に知多市の文化財(建造物)に指定されています。末社の青木稲荷社まで続く朱色の鳥居も必見です。



7 津島社 (つしまじや)「寺本城址」

中世の花井氏の居城(通称「寺本城」「堀之内城」「青嶺城」)であった天王山に建立。社伝によれば嘉吉3年(1443年)花井播磨守信忠の寄進にて建立されました。戦国騒乱の中、城は払われ社殿も荒れ果てましたが、昭和24年に現在地に復元されました。約150段を登る高台にあり、以前は周りを見渡すことができた。石段入り口には寺本城跡の記念碑もあります。



8 神明社 (しんめいじや)

天智天皇の御代、新羅国明徳王の太子(道行法師)がこの地にきたところ、日暮れになり舟路が叶わず陸に上り、薬王山法海寺を開基したとされています。その後、寺の鎮護のため当社と八幡神社を創建し、これを寺本両宮と称し日暮宮ともいわれます。一本の木から二本の木が育つ「相生の楠」が御神木となっており、夫婦とも長寿、子宝、安産の豊饒があると伝えられています。



9 天白社 (てんぱくじや)

寺本4か村の一つであった中島村の氏神と奉斎されたようで、詳しいことはわかっていませんが、古い棟札に寛文9年(1669年)のものがあり、少なくとも350年以上尊崇されてきています。10月の八幡神社の例祭に行われる神幸祭(神輿渡御)のお旅所となっています。



10 秋葉社 (あきはじや)

極楽寺の隣に位置し、約120段の石段を登った高台にあり、延岡地区の人々の産土神として崇敬されています。江戸時代には、村の人々が山之神を奉斎していましたが、明治以降村内の各所に祀られていた祠を含めて、秋葉社と称するようになりました。



11 御嶽神社 (おんたけじんじや)

現在の八幡中学校(西側)の高台に位置し、登り口が2か所あります。昔は海から見渡すことができた。社伝によれば信濃の国の御嶽神社の分霊を勧請とされています。明治13年に一般神社として認められました。



12 神功皇后社 (じんぐうこうごうじや)

300年以上前に一人の修験者が、清水がこんこんと湧き出るところに、神功皇后のご分霊を祀り、山の神としたと伝えられています。神社の入口付近に「皇后の井」といわれる井戸があり、昔は常に清浄な水が湧き出て、安産祈願の人は、この水で身を清めてお参りしたとされています。(現在はふたで覆われています。)



1 妙楽寺 (みょうらくじ)

知多四国79番札所

知多四国八十八ヶ所霊場のはじめはこの妙楽寺です。1809年にこの寺の亮山和尚が弘法大師のお告げを受けたことから開創されました。

★パワースポット(いぼ地蔵)

四百年前に地蔵池から出られたお地蔵さまは、がん封じの御利益で信仰を集めています。



2 福生寺 (ふくしょうじ)

知多四国78番札所

大正2年、大火で本堂が全焼するなか難を逃れた大黒天。以来、防火、厄除け、開運の神「やけん大黒天」として親しまれています。

★パワースポット(厄受け不動(北向き不動))

本尊様と岡方お参りすると心が落ち着き、イヤなこと忘れなくなるなどと伝え聞く。(隣りにお百度石)



3 慈雲寺 (じうんじ)

知多四国72番札所

1350年(観応元年)宮山城主一色範光を開基とし夢窓国師を開山に迎えた。山門正面の観音堂には恵心僧都の作と言われる当山本尊千手観音菩薩・西国33観音が祀られている。その両脇には、めずらしい観音の眷属28部衆も祀られている。

★パワースポット(一願抱き地蔵「重荷が軽い叶える抱き地蔵」)

抱いて願いをすると、願いが叶えられると言われている。但し、一願だけです。その前に重いのか、軽いのか、抱けるかな?



4 正法院 (しょうほういん)

知多四国73番札所

佐布里五箇寺の1つです。後鳥羽上皇の勅願寺として1184年に開創。応永年中(1394~1428)憲宗法印が再興した。さらに乱世の兵火に悉く消失、その後再建して現在に至るという。

★パワースポット(絵天井(安城市 加藤博 作))

平成に入り本堂の天井や襖に、龍や花鳥風月の絵が描かれ堂内を華やかに彩ります。



5 密厳寺 (みつごんじ)

知多四国74番札所

佐布里五箇寺の一つです。古くから近郊では「佐布里的祈願所」としてなじみ深く、多くの村人の祈願を受けてきました。本尊は、十一面観世菩薩(市指定文化財)、藤原時代の作と言われています。

★パワースポット(密厳寺境内)

本堂の、十一面観音・弘法大師・不動明王。境内に、薬師堂・天神社・白山社など。一箇寺で複数の御利益をうけられる。



「十弘法」の紹介

名鉄名古屋駅より西知多方面へわずか三十分で達する所に十ヶ所の弘法大師霊場がある。これぞ知多市にあるご霊驗あらたかな「十弘法」である。十弘法の名前の由縁は明らかではないが十ヶ所の霊場を巡るから「十弘法」または徒歩で巡拝したから「徒弘法」との説もある。あたかも四国になぞらえて古見、岡田、佐布里、寺本の四つの里にある知多四国霊場の七十二番札所から八十一番札所である。その歴史は古く、



6 誕生堂 (たんじやうどう)

知多四国75番札所

正法院の境内、段丘上に堂宇がある。寺伝に、如意寺の一山九坊の中・泉蔵坊が札所であったが、明治維新の廃仏毀釈により、泉蔵坊は廃寺となった。その後、正法院の境内に一字を建てて大師像を遷した。誕生堂の由来は、四国霊場第七十五番・普通寺の縁起にちなむという。

★パワースポット(石段)

石段はおおよそ四十段、この数は厄除け大師の信仰を喻依する。「本朝世事談緯」による厄蔵の由来に、「男子は八歳より血気さだまり。十六歳にして精通し、八年つづいて血気衰えて、五八の四十歳にて血気満ちて、四十一歳より血気衰える。この故に、四十歳を初老というなり。また四二は「しに」通じて忌み嫌うという。



7 如意寺 (にょいじ)

知多四国76番札所

如意寺は往古、一山九坊を有した真言宗の古刹。元暦元年(1184)創建。応永年間(1394~1428)憲宗法印が中興開山した。開基およびその後は不詳という。

★パワースポット(雨乞い)

雨乞いの本尊として数多くの霊驗が伝わる地蔵菩薩は、雨を宝とする農民から崇敬を集めてきました。



8 浄蓮寺 (じやうれんじ)

知多四国77番札所

佐布里五箇寺の1つです。裏山の竹やぶは、かつて弘法大師が立てた杖から芽が出たといういわれがあります。この竹を刈り、砂で磨いて御祈禱した「中風徐箸」が知られていましたが、現在は、竹から南天にかわってます。

★パワースポット(白蛇)

納経所の前の五葉松には、何十年に1度白蛇があらわれる。次はいつになるか?



9 栖光院 (せいこういん)

知多四国80番札所

小高い山に位置する栖光院。曹洞宗の寺院で、山号は海鶴山、元は真言宗であったが、天正5年(1577年)に改宗。仁王門をくぐると大楠。更に白壁築地塀の石段を上がると、観音堂・弘法堂があらわ。

★パワースポット(大楠)

樹齢850年、幹周り8m超の大木。参拝者はその幹に直接触れてパワーをいただいている。



10 龍蔵寺 (りゅうざうじ)

知多四国81番札所

1617年に地蔵菩薩に深く帰依する京の公卿が移り住んだことから寺の歴史は始まりました。境内には市の保存樹「オガタマノキ(招霊木)」があります。

★パワースポット(秋葉三尺坊大権現)

境内には、防火の神である秋葉三尺坊大権現を祀る社があります。鎮防火燭に霊驗約かなり。



知多木綿発祥の地 岡田景観ガイドマップ

1 手織りの里 木綿蔵・ちた

明治後期に竹内虎王が建てた木綿蔵
機織り体験や製品販売工房(月火水定休日)
【登録有形文化財(建造物)】

2 竹内康裕邸と蔵

蔵は、大正9年に完成したなまこ壁の蔵で
戦争時に黒く塗られた。当家は、山木織
布を営む

3 舟橋家(旧伊藤銀行跡)

大正12年旧知多貯蓄銀行(土井家)が
ここに移転。後に伊藤銀行に。昭和11年
に現愛知銀行岡田支店の場所に移転した。

4 五右衛門地蔵

江戸時代、酒飲みの修験者が村の流行り病を
治めるために生き仏となり入定した。村人
がそれを悼んで石仏を建てた。

5 阿弥陀堂

1660年代(寛文年間)には既に存在し、
1841年に瓦葺き。今も毎月念仏をあげている。

6 奥組山車蔵

山車は、1861年(文久元年)に造られた。
通称「風車」と呼ばれている。

7 岡田神社

1622年(元和8年)に創建され、昭和32年
伊勢神宮の遷宮材を授かり再建された。

8 料理旅館 枳磯

明治20年代は弘法宿とみそたまり業を営む。
現在は高級料理旅館

9 旧岡田屋

大草城の家老屋敷を移築。明治20年代
には弘法宿を開業
現在、織り道具と糸が購入できるアトリエ
ショップ「つむぐてらす」として活用

10 開戸東組防空壕跡

昭和18年に開戸東組の人達が空襲に備
えて作った防空壕(戦争遺産)

11 文四郎坂

明治に隣家の土井文四郎家の屋号が名に。
他にも権現坂、ねずみ坂などがある。

12 多聞天(毘沙門堂)と十王堂

1710年(正徳年間)に建築され今も毎
月念仏をあげている。

13 中組山車蔵

中組の山車は、1839年(天保10年)
に造られ岡田では最も古く大きい。
通称「雨車」と呼ばれている。

14 竹内久良男邸の蔵

昭和2年建築の洋風でめずらしい蔵

15 松田邸(歯科)の福瓦

1720年代(享保年間)に内科医を開業
昭和から歯科医。堀に福瓦の飾りがある。

16 種徳寺

1521年(大永元年)に創建された慈雲寺
の末寺(昔)で宗派は臨済宗妙心寺派

17 里組山車蔵

山車は、1689年(元禄2年)造られた。
通称「日車」と呼ばれている。

18 竹内合名と蔵

大正時代には綿布工場を営む。蔵は現在
事務所として活用されている。

19 雅休邸(旧岡田医院)

昭和4年に竹内雅休医師(元豊橋陸軍病
院長)が開業
【登録有形文化財(建造物)】

20 伝承知多木綿 つものき

機織り教室や体験のできる工房
木綿製品販売(活動日:木~土曜日)

21 慈雲寺

1350年(観応元年)創建、一色範光開基
臨済宗妙心寺派 知多四国72番札所

22 お祭り広場

毎年4月16日に近い日曜日に、奥組 中組 里組
の山車が曳きだされる広場で 岡田の中心地

23 chitacotton 478

旧中七木綿本店作業所を利用した、知多木綿
の魅力を発信するアンテナショップ
(月火水定休日)

24 旧中七木綿本店

大正4年建築、中七木綿合資会社(創業明
治29年)の本店
【登録有形文化財(建造物)】

25 旧竹内虎王邸

虎王は明治31年に竹内式動力織機を発明し
特許を取得。豊田佐吉と研究したとか。

26 旧竹中商店と蔵

江戸時代から米・肥料・木綿等を商う。
蔵は地下に荷馬車を入れる構造

27 手綱架け

竹内金四郎が昭和2年に石垣に作りかえた
際に、荷馬車用の手綱架けを作った。

28 竹之内資郎邸と蔵

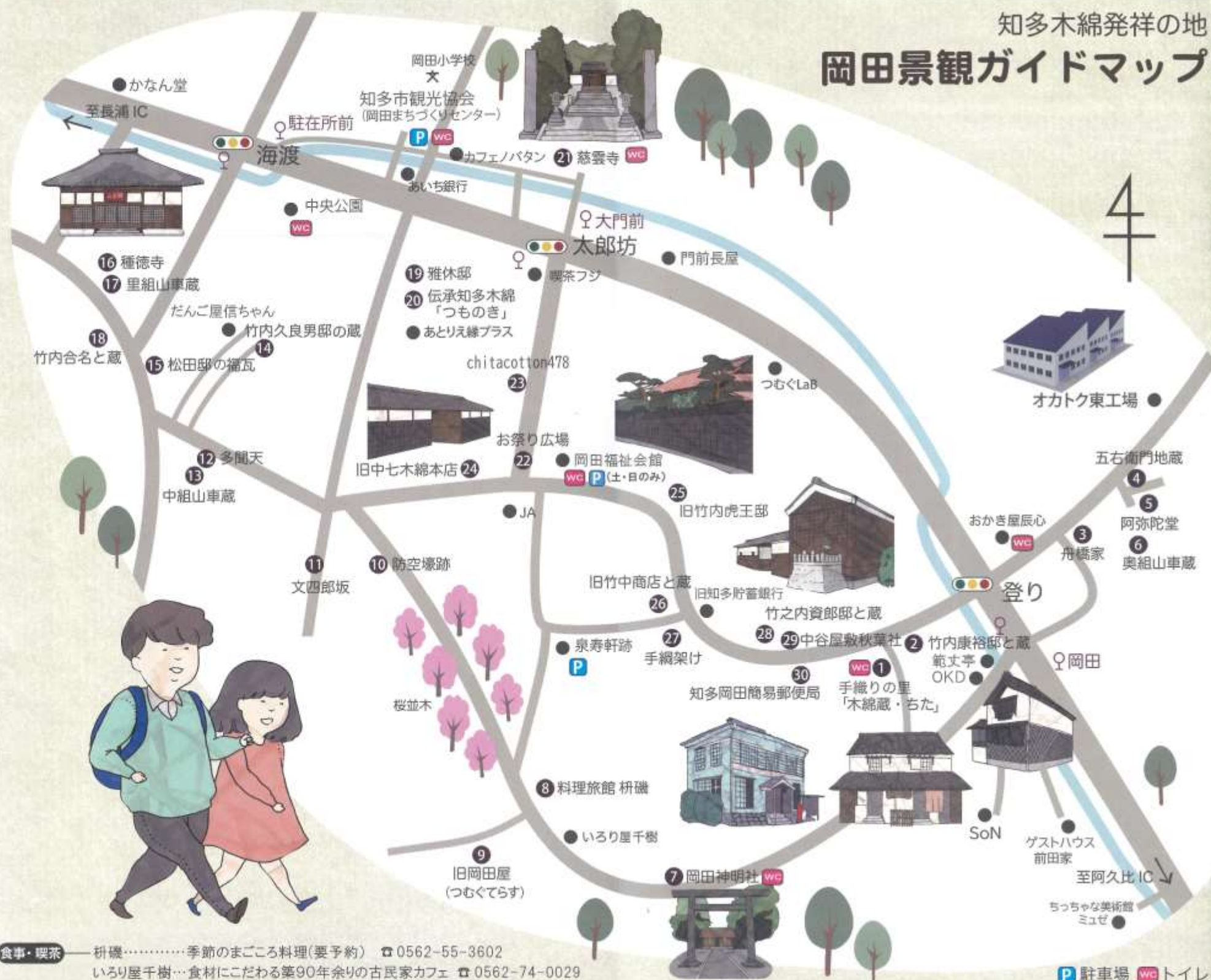
江戸時代中期1700年代に竹内源助が江戸
の木綿買継問屋の鑑札を受け開業
長屋門や木綿蔵が現存している。

29 中谷屋敷秋葉社

江戸中期の大火を期に防火の神様として各
屋敷の中心地に祀られた。
現在他に16カ所存在している。

30 知多岡田簡易郵便局

明治35年に岡田郵便電信局として建築、
一時閉鎖されたが平成5年に簡易郵便局
として開局。街並保存活動の原点となる。
【登録有形文化財(建造物)】



食事・喫茶

枳磯……………季節のまごころ料理(要予約) ☎ 0562-55-3602
いろいろ千樹…食材にこだわる築90年余りの古民家カフェ ☎ 0562-74-0029
喫茶フジ…………歩き疲れた時に一休み、街角の喫茶店 ☎ 0562-55-3948
カフェノバタン…古民家でゆったり喫茶&食事 ☎ 0562-55-5135
範丈亭……………お米・海苔にこだわった古民家のお食事処 ☎ 0562-85-1360
OKD KOMINKA BREWING…地元の食材にこだわったローカルファーストのクラフビール ☎ 0562-85-1360
SoN ……………古民家を使った複合施設(カフェ・パン・レストラン) ☎ 0562-77-4901
おみやげ……………おかき屋辰心…………あられとみたらし団子。岡田のカツ井も味わえる ☎ 0562-56-0280
だんご屋信ちゃん…………もちもち柔らかなお団子はきなきもオススメ ☎ 0562-51-0443
chitacotton 478…知多木綿の魅力発信 ☎ 0562-55-3239

宿泊

岡田古民家ゲストハウス前田家…築140年の古民家一棟貸し
平日はレンタルスペース、週末は宿泊

その他

あとりえ縁プラス…着物レンタル ヘアメイク&着付けもおまかせです
つむぐLaB ……古民家を改装したフォトギャラリー

Aコース(街並み景観めぐりコース) 所要時間約1時間

1 手織りの里 木綿蔵・ちた ~ 2 竹内康裕邸と蔵 ~ 30 知多岡田簡易郵便局 ~
29 中谷屋敷秋葉社 ~ 28 竹之内資郎邸と蔵 ~ 27 手綱架け ~ 26 旧竹中商店と蔵 ~
25 旧竹内虎王邸 ~ 22 お祭り広場 ~ 24 旧中七木綿本店 ~ 23 chitacotton478 ~ 21 慈雲寺 ~
19 雅休邸(旧岡田医院) ~ 20 伝承知多木綿 つものき ~ 10 防空壕跡 ~
8 料理旅館 枳磯 ~ 9 旧岡田屋 ~ 7 岡田神社 ~ 1 手織りの里 木綿蔵・ちた

Bコース(街並み散策コース) 所要時間約1時間

1 手織りの里 木綿蔵・ちた ~ 2 竹内康裕邸と蔵 ~ 30 知多岡田簡易郵便局 ~
29 中谷屋敷秋葉社 ~ 28 竹之内資郎邸と蔵 ~ 27 手綱架け ~ 26 旧竹中商店と蔵 ~
9 旧岡田屋 ~ 7 岡田神社 ~ 1 手織りの里 木綿蔵・ちた

知多市

知多市南部エリア・常滑北部エリア

大野谷散策マップ

知多半島の中でも早くから歴史や文化が開けた知多市南部から常滑市北部一帯の地域を大野谷といっていました。そんな古き良き歴史と文化の地を巡ってみませんか。

常滑市



◆日長神社◆

1

御祭神は「日長命」、「日本武尊」、「倉稲魂命」の三柱をお祀りしております。11月下旬から12月上旬は紅葉が見頃となり日長神社の「もみじ谷」と呼ばれる谷をみせます。また、4月の第2日曜日は祭礼(御馬頭祭)も開催されています。

◆稲荷神社◆

2

御祭神は、稲荷神、宇道之御魂神。境内には、市指定天然記念物の「マメナシ」の木(樹齢130年、推定)があり、4月中旬ごろに桜の花に似た白い花を咲かせ、夏から秋にかけてナシに似た1cmほどの実をつけます。また、氷河期であったときからの植物で「生きた化石」ともいわれています。

◆八社神社◆

3

「伊勢、熊田、八幡(はっけん)、熊野、八幡、天王、多田、源太夫」の八つの御神体が祀られ、大野谷中心の神社であり、北柏谷の氏神様でもあります。4月の第2日曜日の春祭りには、総勢約(そうらでん)づくりの山車(花王車)も地区内を巡行します。

◆貴船神社◆

4

古来雨乞いの神、災害除去の神として崇敬され、京都御所(貴船神社)を本社に持つといわれています。伝説の中に昔、知多半島に日曜りが続くことがあったとき、大菩薩の名僧が京都御所の貴船神社へ参詣に行き、雨を降らせて村人を救ったという説もあります。

◆慈光寺◆

5

宮山城主一色修理大膳満範によって創建され、鎌倉内蔵寺の清源大和尚を開山として迎える。弘法堂の前には「願い石」が安置されており、願いの穴から大菩薩を眺めて祈願すれば、願成就するとされています。

◆大興寺◆

6

自然豊かな里山を背景に、大日如来と宗廟大師を祀る、通称「だるま寺」。毎年、成人の日に行われる「だるま大祭」で知られ、参拝者は小さきまきま「だるま」に願掛けをすることが出来ます。

◆旭公園◆

7

自然の地形を利用した大きな公園。四季を通して花々が美しく咲き、春は桜の名所としても人気! 園内には花木園やせせらぎ川があり、緑の中を散歩しながら四季折々の自然が感じられます。また、親子で遊べるアスレチック広場もあります。

◆大興寺の里山◆

8

大興寺周辺に残る自然豊かな里山は、地元の名産品によって整備され、5月初旬〜6月下旬には、落田川沿いに植えられたヤマボウシが白い花を咲かせ、10月下旬〜11月中旬には四季桜も楽しむことが出来ます。冬の桜の小径を散策できる里山です。

◆新舞子マリンパーク◆

9

2基の風車がトレードマークのマリンレジャースポットで、海の青と砂浜の白、そして芝生の緑が美しい景観を演出しています。マリンスポーツや海水浴はもちろん、海釣り施設やドッグラン施設も併設され、1年を通して楽しめます。

◆小倉神社◆

13

御祭神は、高皇産靈尊、土老翁の両神です。半山権現と呼ばれ、「権」は「海」のごとく潮流をつかさどる神、海路の神、航海の神などといわれ、いすれにしても海に開かれた神です。現在でも神社の前の通りは、ミヤマド(半山通りの転化)といわれています。

◆天満社◆

14

御祭神は豊前守公。今は宮山にあるが昔は大野にあり「帆下天神」とも呼ばれています。航行の船の安全のため帆を下ろして祈願したといわれています。境内には筆型のお百石石があり、多くの方が、学業成就の祈願をされています。

◆神明社◆

15

御祭神は豊受大神、社伝によれば、敬明天皇のころ伊勢神宮を勧請したのが本社の創建です。常神車、西宮車の山車2台が繰り歩き祭礼は4月の第3(土・日)に開催されます。

◆内宮御祭宮社◆

16

御祭神は天照大神、崇仁天皇の御代に、倭姫命が天照大神を奉じて、三ヶ月間この地に滞り、その後、伊勢の地に遷られた。昔は内宮天照大神と称え、広大な敷地を有し、元伊勢として崇敬を受けたといわれています。

◆佐治神社◆

17

佐治水軍を率いて伊勢湾海上交通を掌握した佐治家を祀った神社です。社伝には「小倉命名」と「大倉命名」の二つの石碑があり、特に佐治と倉の神様として祀られているといわれています。

◆青年寺◆

18

本尊は釈迦如来の坐像で、大野城主佐治家の菩提寺として知られています。寺宝の「蓮華大師二聖観音菩薩像」は、国宝に指定されています。また、「祐青観音菩薩像」は、常滑市有形文化財にも指定されています。

◆海音寺◆

19

臨済宗妙心寺派の寺院。伊勢湾を望む落ち着いた寺院で、境内には海中から出現した薬師如来を祀る薬師堂と、その前に立つたといわれる「来迎石」と呼ばれる天然の立石があります。地元では「浜薬師さん」とも呼ばれています。(11月8日が祭礼)

◆蓮台寺◆

20

本尊は聖観世音菩薩で、莫大の「宝樹」があります。大野城が築かれたのは、この宝樹に由来し、門を閉じたところ、宝樹が倒れることが出来なかったといわれ「閉ざす門」と伝えられています。奥方が持ち出した寺の本尊の阿弥陀如来の掛け軸が「大野谷出雲」として今日まで伝えられています。

◆大野海水浴場(潮湯治)◆

21

古文書にも大野の名が残る海の湯治場です。又世界最古の海水浴場ともいわれています。常滑名所協会(天保15年)には、潮水に沿って終日幾度も繰り返す、あらゆる諸病を治す湯を世に大野の湯治(別名「るりが湯」)と呼ばれていました。

◆光明寺◆

10

本尊は、市指定文化財の阿弥陀如来。他にも、市指定文化財の法然上人絵像を始め、多くの寺宝も有ります。江戸時代徳川六代、末寺、40余を数えたため「おとらさん」と呼ばれています。

◆田中寺◆

11

京都東本願寺を本山とする真宗大谷派の寺院で、本尊は阿弥陀如来木像(安阿弥作)1年間の修行を経て、宗祖親鸞聖人の教えを伝えています。

◆東龍寺◆

12

夢のお告げによって、比叡山横川の阿彌陀如来を本尊として安置されています。寺には市指定文化財「古過去帳」を始め、多数の寺宝が保存されています。一説には、徳川家康の戦いで今川義元が陣亡したとき、徳川家康は、大高から大野東龍寺に逃げたとき、三河に突いたといわれています。